

令和6年4月15日

湧別町長 刈田 智之 殿

団体名 みんなで湧別の明日を考える会  
代表者名 勝 本 芳 孝(湧 別)  
宮 澤 道(中湧別)  
平 野 寿 雄(上湧別)

## 新庁舎建設に関する要望書について

本町における庁舎新築について『みんなで湧別の明日を考える会』は、会員約40名と町議会議員5名と昨年以降長期にわたり、庁舎新築計画についての是非とより有効な方向性について議論して参りました。

湧別の近い未来と理想像を思い描きつつ、考え・問いかけ・活動の本質等を対話と議論を会員間で重ねて参りました。

又、それぞれが思う価値観や町の歴史等を踏まえ、庁舎新築に係る内容を考えました。

結果、新庁舎建設に係る事業費約44億円程度(外構費等別)・中湧別小学校跡地が新庁舎の位置等、職員集約目的に伴うオーバーサイズの庁舎が事業費および位置決定について問題をまねいております。

本町のまちづくりに町職員の集約が優先かが疑問であり、町民ファーストの観点では税負担の軽減、庁舎新築計画については準備不足による住民の理解が不足しております。

また、十分な計画議論や目的基金創設などの準備が必要であった事、合併特例債ありきの建設は認められません。

昨今、我が国は能登半島の大震災で経済的支援が急務な状況にあり、貰える権利を行使し補助金は貰わなければ損は許されません、また、現庁舎(本庁舎)の耐久性について問題なく倒壊や利便性に急務な状況に無く、新庁舎建設用件に当てはまりません。

私たち、『みんなで湧別の明日を考える会』は補助金の有無にとらわれず、分庁舎機能を継続し改めて新庁舎規模・場所・利便性・コンセプトの再検討を下記により要望いたします。

### 記

#### 1. 新庁舎建設計画の白紙撤回